中支部だより

第１号

創立60周年記念事業

平成24年度の中支部総会に合わせて、同時開催されることが決まった中支部創立60周年記念事業は、現在、金子副支部長をチームリーダー、田中会計担当をサブリーダーとして開催に向け作業を進めています。

9月16日(金)の役員会で計画案が提出され、承認されました。開催時期は中支部総会と同日の平成24年5月の中旬、開催場所は平塚プレジールもしくは神奈中グランドホテルの宴会場、開催目的は「会員相互の親睦及び中支部・ナナメ塾の活動報告そして60周年のお祝い」とし、前回開催された創立50周年記念事業からの10年間の活動―主にナナメ塾活動―にスポットあてた内容となる予定です。

また詳細として記念式典、記念講演、記念誌の作成そして記念品配布などが計画されています。

今後も決定した事項について順次、お知らせしていきます。

どうぞご期待下さい。

白瀧さん・田中さん結婚お祝いの会開かれる

～和やかな雰囲気の中で～

8月27日（土）にイタリアンレストラン「ラ・パットーラ平塚海岸通り店」にて前期までに結婚した白瀧百合子さん、田中敦史さんのお祝いの会を開きました。夏の終わりの土曜の午後、長年活動を共にした二人のゴールインをお祝いしようと仲間たちが参加しました。

矢野ナナメ塾頭の司会で幕を開け澤田支部長の祝辞、そして斎藤さんの乾杯の音頭の後、お二人それぞれの馴れ初め話に興味深く耳を傾けつつ、美味しいお酒と料理を満喫し、和やかな雰囲気の中、皆さん楽しい時を過ごしました。

途中、金子副支部長からの花束贈呈、最後は土井副支部長の閉会の挨拶をもって3時間近い宴席はお開きとなり解散。まだ呑み足らん！という方々は夜の平塚のとある「村」へと出向いたようです。中支部のコアメンバーにはまだ独身貴族が数名おりますが、さて、次にこのような席でお祝いされるのは果たして誰なのでしょうか…！？

先々代ナナメ塾頭・大谷邸見学会

～三代目塾頭の想いが形に～

2年前の6月、不慮の事故により他界した三代目ナナメ塾塾頭・大谷光紀さん。彼が生前、設計を手掛けていたご自宅のリノベーションが、彼の遺志を受け継いだ人々の手によりこのほど完成しました。その邸宅を奥様の美和さん、そしてご両親のご好意で、9月10日(土)に見学させていただきました。

今回の工事では美点であった風通しのよさを温存し、耐震性能と温熱環境の向上に注力、また、光を取り入れることにも工夫がされ、台所食堂に続く開放感あるデッキ、天窓の新設もなされました。

また随所にガラス作家である妹さんの作品を散りばめ、住まいに花を添えています。今回は個人邸の訪問ゆえに参加人数に限りがありましたが、氏の住まいに対する思いを改めて知る機会となりました。

平成24年度建築士会活動交流会

8月8日の支部長委員長連絡会の席上で平成24年度の建築士会活動交流会の開催地として中支部が立候補する宣言を行いました。

交流会招致・実行のチームリーダーとして土井副支部長、サブリーダーは泉田青年委員とし、二人を中心に開催まで事業を進めていきます。

今年度は今まで開催された交流会の資料収集、開催会場・テーマ・内容・開催規模等などの大枠の検討、そして今年度開催される相模原支部へ実行委員のオブザーバーとして参加し、中支部開催時の参考とするなどを考えています。

今後、方向性などが決定しましたらお知らせいたします。

文化庁事業継続事業に決定

前年度より中支部事業として行ってきた、秦野みのげ地区にある大日堂を中心とした文化庁事業「地域伝統文化総合活性化事業」が今年度も継続事業として決定しました。

前年度は大日堂の調査を行い、みのげ地区・大日堂の紹介及び地域活動や関連他団体の紹介・今後の活性化に向けた提言をした報告書をまとめ、「閻魔大王フォーラム」と銘打ったシンポジウムを行いました。

今年度はタイトルが「文化遺産を活かした観光振興・地域活性化事業」と変わりましたが、前年度を引き継いだ形で、個々の活動と将来の継続性を考えた内容として進めていく計画です。

今後の予定

○11月19日(土)に中支部・ナナメ塾事業として熱海見学会を予定しています。午前中はブルーノ・タウト設計の重要文化財「旧日向別邸」を見学、午後は熱海市内の旧所名跡を訪ね、最後に岩崎別荘であり、太宰治・山本有三などの多くの文豪たちにも愛され旅館でもあった、熱海市指定有形文化財の「起雲閣」を見学する計画です。詳細は会報「建築士」11月号封筒の掲示板に掲載する予定です。